

キタコブシ

モクレン科 ^かモクレン属 ^{ぞく}(^{らくようこうぼく}落葉高木)

がくめい 学名 : *Magnolia kobus* えいめい 英名 : (Cucumber tree)



- ・葉 : 広倒卵形、^{ごせい}互生、^{きぶ}基部がせまい、^{さき}先は急に^{とが}尖る、^{なめ}ふちは滑らかで^{すこ}少し^{なみう}波打つ
^{がわ}なめし^{あつ}革のよう^{そくみやく}で厚^{ちか}ぼったい、^{あみじょう}側脈は^{つら}ふち近くで^{ようへい}網状に^{つら}連なる、^{ようへい}葉柄あり
- ・幹 : ^{みき}皮は^{かわ}黄色を^{きいろ}帯びた^お灰色^{はいいろ}
- ・果実 : ^{かじつ}赤色の^{あかいろ}種子^{しゆし}が^{しろ}白い糸^{いと}で^た垂れ^さ下がる
- ・冬芽 : ^{ふゆめ}互生、^{ごせい}紡錘形^{ぼうすいけい}または^{ちよう}長^{えんけい}だ^{せんたん}円形^{せんたん}で^{とが}先端は^{なが}やや^け尖る、^{おお}長い毛^{おお}で^{おお}覆われる
^{たくようこん}托葉痕^{えだ}は^{いっしゆう}枝を^{ちようが}一周、^{そくが}頂芽^{おお}は^{はなめ}側芽^{とく}より^{おお}大きく^{おお}花芽^{おお}は^{とく}特に^{おお}大きい
- ・春一番に^{はるいちばん}白い花、^{しろ}アイヌ名^{はな}「^{めい}オマウクシニ」(^{かお}よい^き香りがする木)
- ・^{かたち}つぼみの^み形^{つつ}と^{ふくろ}実を^{かたち}包む^{かたち}袋^{かたち}の^{かたち}デコボコした^{かたち}形^{かたち}が「^ににぎりこぶし」に^に似ている → コブシ

